

氏名： 富士原 紀絵
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 准教授
学位： 修士（1995 お茶の水女子大学）
専門分野： 教育方法学（教育実践史、カリキュラム論）
E-mail： fujiwara.kie@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

カリキュラム／教育方法／日本教育実践史／教育課程
curriculum / educational method / history of educational method in Japan / course of study

◆主要業績

- ・「秋田大学附属図書館所蔵「教育課程文庫」に関する調査」『お茶の水女子大学 人文科学紀要』第6巻、2010年3月、pp.169-185
- ・「『行って意味ある学力調査』の要件を考える」『教育』60(1)、国土社、2010年1月、pp.78-85

◆研究内容 / Research Pursuits

戦後初期の小学校のカリキュラム改革に関する研究
Research on elementary school curriculum reform
during the early post-war period.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部) 教育課程や教育方法、教職関係科目の授業を担当した。専門科目の教育方法概論では現代の教育方法につながる問題点を意識して、日本の戦前から現在にいたる教育方法の特徴について講義を行った。教育課程演習では基礎的な文献購読と共に、先進的な教育課程に取り組んでいる学校参観を行った。この他、教職関係の授業を担当し(オムニバス形式も含む)、教育実習の事前・事後指導を担当した。また、実際の教育現場と学生との接触を図るための授業運営や、インターンシップのコーディネートを担当した。

(大学院) 修士課程の教育方法演習・特論では、日本とアメリカの教育課程をテーマにした。

(For Undergraduate) I taught classes regarding educational curriculum, educational method, teacher training and others. In the 'Introduction to educational method' class, I ran a series of lectures regarding the characteristics of the educational methods in Japan from the pre-war era up to the present, highlighting the issues which lead to the present educational methods. In addition, I taught classes aimed at teacher training, and coordinating and supervising the students on-site teacher training throughout.

(For Postgraduates) I took up the theme of educational methods on Japan and America.

◆研究計画

1. 日本の戦前・戦後初期の義務教育のカリキュラム改革の歴史的研究
2. 教育における新聞メディア活用に関する研究
3. 教師の教育評価観に関する研究

◆メッセージ

将来、教職を志望する学生を育てること、あるいは現職の教師の方の実践研究への手助けをすることが自分がこの職に就いた理由です。学校に対する社会の期待は年々大きくなる中で、教師や子どもをめぐる様々な困難が取りざたされています。しかし、教師という仕事は目に見えない子どもの可能性、そしてその子どもらによって創られる未来を生み出す手助けをするという意味において、社会の行く末を左右する重要な仕事であるのみならず、本来、未知のものを扱う創造性豊かな楽しい仕事であると考えます。そうした仕事に進んで携わろうとする、そして現に携わっている人たちの期待や夢、そして直面している困難と一緒に考え学んで行くことを基本的なスタンスとしています。これまで小・中・高等学校の教師と子どもたちと様々な問題と一緒に取り組む中で多くのことを学んできました。研究対象は歴史的な実践ですが、歴史の中に登場する教師からも多くのものを学んでいます。実践に即していれば時空を問いません、学校や教師について一緒に考えてゆきましよう。